

平成21年3月期 第3四半期決算短信〔米国会計基準〕

平成21年2月10日

上場会社名 日本ハム株式会社
 コード番号 2282 URL <http://www.nipponham.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員グループ経営
 本部長 (氏名) 竹添 昇
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東大

TEL 06-6282-3171

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		継続事業税引前四半期純利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	818,440	2.8	28,345	51.9	14,230	12.5	7,669	96.5
20年3月期第3四半期	795,830	4.6	18,664	4.3	12,645	△20.0	3,902	△55.3

	1株当たり四半期純利益		希薄化後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	33	61	33	55
20年3月期第3四半期	17	10	17	07

(注) 営業利益は日本の会計慣行に従い、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

(注) 本資料におきましては、米国会計基準審議会基準書(以下「基準書」)第144号「長期性資産の減損又は処分に関する会計処理」に基づき、平成21年3月期第3四半期に非継続となった事業に関して、平成20年3月期第3四半期の数値を一部組み替えて表示しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		株主資本		株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円		百万円		%	円
21年3月期第3四半期	638,509		286,695		44.9	1,256.48
20年3月期	608,809		287,457		47.2	1,259.74

(注) 株主資本、株主資本比率、1株当たり株主資本は米国会計基準に基づき記載しております。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年3月期	—	—	—	16.00	16.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		継続事業税引前当期純利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	1,050,000	2.0	22,000	23.8	7,000	△9.9	4,500	189.4	19.72

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

(注) 対前期増減率については、基準書第144号に基づく組み替え再表示後の数値を元に算出しています。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は4ページ「4. その他(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	228,445,350株	20年3月期	228,445,350株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	272,748株	20年3月期	257,001株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	228,176,356株	20年3月期第3四半期	228,192,920株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、平成20年8月8日に公表しました平成21年3月期の連結業績予想については本資料にて修正しています。詳細につきましては本日平成21年2月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

業績全般の状況

当第3四半期のわが国経済は、世界経済が一段と減速する中、外需の大幅な落ち込みや企業の設備投資の先送りに加えて個人消費の冷え込みもあり、景気は急速に悪化しました。

当業界におきましても、原材料価格や燃料価格の相場は反落しましたが、実際の原価への反映にはタイムラグがある中、消費者の低価格志向や消費全般の停滞などに食肉の販売価格の下落も加わり、さらに厳しさを増す環境にあります。

このような中、当社グループは中期経営計画のテーマに掲げた「弛まぬ変革・挑戦による企業価値向上」を果たすべく、年間を通して最大の商戦である年末商戦を万全の体制で取り組み、収益の拡大に努めるとともに生産の合理化、不採算事業の見直しや遊休資産の売却などを加速させてコスト競争力向上を図るなど様々な施策を推進してまいりました。また、消費者の食品に対する不信や不安が依然として払拭されない環境下、中期経営計画の経営方針のひとつである「品質No.1経営の推進」を一層強化すべく、高い品質を追求する品質向上活動の浸透や原材料の安全検査、品質監査など品質管理体制の充実に取り組みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は対前年同期比2.8%増の818,440百万円となりました。利益につきましては、第2四半期まで業績を牽引した国内での食肉販売が相場の反落により停滞しましたが、ハム・ソーセージにおける歳暮ギフトの売上げが昨年を大きく上回ったこともあり、営業利益は対前年同期比51.9%増の28,345百万円となりました。しかしながら世界経済の激動による第2四半期末から第3四半期にかけての急激な為替相場の変動により為替差損が9,500百万円発生したことにより、継続事業税引前四半期純利益は対前年同期比12.5%増の14,230百万円、四半期純利益は対前年同期比96.5%増の7,669百万円となりました。

オペレーティング・セグメントの概況

(加工事業本部)

ハム・ソーセージ部門は、業務用チャネルでは苦戦しましたが、量販チャネルにおいて消費者の健康志向に対応した新商品「新鮮生活ZEROシリーズ」の店頭プロモーションや「シャウエッセン」のTVCM、「森の薫り」の得意先とタイアップしたキャンペーンなど主要カテゴリー、主力ブランドに集中した積極的な販売促進を行い、コンシューマ商品を軸に売上げの拡大に努めました。歳暮商戦につきましては、自社グループ農場の国産豚肉を使用した「美ノ国」ブランドを中心に広告宣伝や店頭での販売促進を積極的に展開し、ギフトの大幅な拡販を図りました。また、製造ラインの統合や商品アイテムの削減、高生産性ラインの導入などの生産効率の向上も図りました。

加工食品部門は、ハム・ソーセージ部門と同様、業務用チャネルでは苦戦しましたが、ピザ・ベーカリー類の「石窯工房」群が引き続き好調なことに加え、苦戦していた「中華名菜」群、「プリフライ」群は店頭販促の強化に加えて、内食回帰の消費トレンドにより回復傾向となってきたこともあり、売上げは伸長しました。また、不採算事業の見直しや商品の品種統廃合による生産効率の向上も図りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の加工事業本部の売上高は対前年同期比3.5%増の257,383百万円、営業利益は対前年同期比44.4%増の7,225百万円となりました。

(食肉事業本部)

食肉事業本部は、消費者の安全・安心志向を背景に、自社グループ農場から生産を手掛けるインテグレーションシステムの強みを活かし、国産食肉や海外ブランド商品を中心に売上げの拡大を図りました。また、景気後退とともにマーケット全体の食肉需要が鈍る中、年末商戦において全国に展開する販売会社の営業力を武器に積極的に拡販に取り組みました。

川上分野は疾病対策や歩留まりの改善など地道な改善活動に取り組みましたが、高い飼料によって生産された畜産物の出荷時期に相場が下落したことにより収支面では厳しい状況となりました。

海外事業につきましては、世界経済の冷え込みにより輸出が減少し、事業環境の厳しさが増す中、農場・処

理場において生産性の向上を図るとともに遊休資産の整理や不採算事業の見直しなどにも取り組みました。

各畜種において数量の拡大とコストの削減に取り組みましたが、景気後退による需要の減退や食肉相場の大幅な下落、為替相場の急激な変化の中で、第3四半期(平成20年10月から12月)は売上げ、利益ともに減速局面となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の食肉事業本部の売上高は対前年同期比2.2%増の543,624百万円、営業利益は対前年同期比48.1%増の19,894百万円となりました。

(関連企業本部)

水産部門は、消費者の安全・安心志向の高まりや景気後退を受けて内食回帰が顕著になる中、量販店向けの売上げは堅調に推移しましたが、寿司種の主要チャネルである寿司店向けの高価格帯商品の販売が伸び悩みました。また、国内工場製造の海外向け商品や海外調達商品の第三国向け輸出が減少する中、製造コストの削減や在庫の削減などに取り組みました。

年末商戦におきましては、ロシアからのカニの調達が減少する中、国内調達の強化や代替商品の販売強化、ギフト販売の拡大などに精力的に取り組みました。

乳製品部門は、ヨーグルト・乳酸菌飲料につきましては「脂肪0%シリーズ」は競合商品の参入はあるものの順調に推移しました。しかしながら、主力ブランドの「バニラヨーグルト」は同業他社との価格競争が激化しており、販売は苦戦しました。チーズは大口取引先である製パンルートでの売上げ減少はありましたが、値上げの浸透とともに大手外食向けの商品開発を強化し、売上げを伸ばさせました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の関連企業本部の売上高は対前年同期比0.4%増の103,856百万円、営業利益は814百万円(前年同期は16百万円の営業損失)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

《財政状態》

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ現金及び現金同等物が減少しましたが、棚卸資産が14,675百万円、受取手形及び売掛金が48,420百万円それぞれ増加したことなどにより前期末比4.9%増の638,509百万円となりました。負債については、普通社債9,700百万円を償還しましたが、前期末に比べ支払手形及び買掛金が34,892百万円、短期借入金が7,192百万円それぞれ増加したことなどにより、前期末比9.6%増の349,818百万円となりました。なお、有利子負債は前期末から6,939百万円減少し176,600百万円となりました。

株主資本は、前期末比0.3%減の286,695百万円となり、総資産が増加したことから株主資本比率は2.3ポイント低下し44.9%となりました。

《キャッシュ・フロー》

営業活動によるキャッシュ・フローは、受取手形及び売掛金、棚卸資産の増加などはありませんでしたが、四半期純利益、減価償却費、支払手形及び買掛金の増加などにより、6,312百万円の純キャッシュ増となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得11,414百万円などにより12,439百万円の純キャッシュ減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加はありませんでしたが、現金配当及び長期債務の返済などにより10,926百万円の純キャッシュ減となりました。

これらの結果に為替変動による現金及び現金同等物への影響額も含め、当第3四半期末の現金及び現金同等物残高は前期末に比べ17,587百万円減少し26,662百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の経営全般を取り巻く環境やグループの業績動向を踏まえ、平成21年3月期の通期業績予想を修正しております。詳細につきましては本日平成21年2月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

将来情報に関するご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 : 有

平成18年9月に、米国財務会計基準審議会が基準書第157号「公正価値による測定」を発行しました。当社は、平成20年4月1日より基準書第157号を適用しております。基準書第157号適用による当社の経営成績及び財政状態に与える重要な影響はありません。

(4) 連結財務諸表の作成基準

当社の連結財務諸表は、米国で一般に公正妥当と認められた会計基準に準拠して作成しております。また、当期の表示に合せて前期の数値を一部組替えて表示しています。

5. 連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日現在)	前連結会計年度末に係る 連結貸借対照表 (平成20年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	26,662	44,249
定期預金	15,947	16,289
有価証券	59	388
受取手形及び売掛金	158,504	110,084
貸倒引当金	△ 1,171	△ 457
棚卸資産	126,893	112,218
繰延税金	6,144	8,566
その他の流動資産	12,465	13,389
流動資産合計	345,503	304,726
投資及び長期債権		
関連会社に対する投資及び貸付金	2,570	2,220
その他の投資有価証券	17,014	18,672
保証金及びその他の投資	10,803	10,830
投資及び長期債権合計	30,387	31,722
有形固定資産(減価償却累計額控除後)	234,521	246,874
長期繰延税金	12,837	12,954
その他の資産	15,261	12,533
資産合計	638,509	608,809
(負債及び資本の部)		
流動負債		
短期借入金	63,619	56,427
一年以内に期限の到来する長期債務	7,065	18,540
支払手形及び買掛金	122,188	87,296
未払法人税等	2,305	1,983
繰延税金	573	579
未払費用	10,948	15,460
その他の流動負債	18,125	11,242
流動負債合計	224,823	191,527
退職金及び年金債務	13,967	14,299
長期債務(一年以内期限到来分を除く)	108,546	110,940
長期繰延税金	2,482	2,471
少数株主持分	1,996	2,115
資本		
資本金	24,166	24,166
資本剰余金	50,984	50,944
利益剰余金	7,015	6,903
その他の利益剰余金	212,819	208,930
その他の包括損失累計額	△ 7,949	△ 3,173
自己株式	△ 340	△ 313
資本合計	286,695	287,457
負債及び資本合計	638,509	608,809

(注) その他の包括損失累計額の内訳
 売却可能有価証券未実現評価損益
 デリバティブ未実現評価損益
 年金債務調整勘定
 外貨換算調整勘定

当第3四半期連結会計期間末
 898
 △ 899
 △ 4,973
 △ 2,975

前連結会計年度末
 1,778
 △ 335
 △ 5,556
 940

(2)-1 四半期連結損益計算書(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	当 第 3 四 半 期 連 結 累 計 期 間 自平成20年 4月 1日 至平成20年12月31日	前 年 同 四 半 期 連 結 累 計 期 間 自平成19年 4月 1日 至平成19年12月31日
収 益		
売 上 高	818,440	795,830
そ の 他	1,134	885
収 益 合 計	819,574	796,715
原 価 及 び 費 用		
売 上 原 価	658,367	646,320
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	131,728	130,846
支 払 利 息	1,971	2,066
そ の 他	13,278	4,838
原 価 及 び 費 用 合 計	805,344	784,070
継 続 事 業 か ら の 税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	14,230	12,645
法 人 税 等	5,685	6,345
継 続 事 業 か ら の 持 分 法 に よ る 投 資 損 益 前 四 半 期 純 利 益	8,545	6,300
持 分 法 に よ る 投 資 損 益 (法 人 税 等 控 除 後)	△ 50	51
継 続 事 業 か ら の 四 半 期 純 利 益	8,495	6,351
非 継 続 事 業 か ら の 損 益 (法 人 税 等 控 除 後)	△ 826	△ 2,449
四 半 期 純 利 益	7,669	3,902

(2)-2 四半期連結損益計算書(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

科 目	当 第 3 四 半 期 連 結 会 計 期 間 自平成20年10月 1日 至平成20年12月31日	前 年 同 四 半 期 連 結 会 計 期 間 自平成19年10月 1日 至平成19年12月31日
収 益		
売 上 高	282,735	290,663
そ の 他	396	252
収 益 合 計	283,131	290,915
原 価 及 び 費 用		
売 上 原 価	227,392	232,984
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	47,251	45,287
支 払 利 息	600	664
そ の 他	5,008	1,413
原 価 及 び 費 用 合 計	280,251	280,348
継 続 事 業 からの 税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	2,880	10,567
法 人 税 等	999	4,402
継 続 事 業 からの 持 分 法 による 投 資 損 益 前 四 半 期 純 利 益	1,881	6,165
持 分 法 による 投 資 損 益 (法 人 税 等 控 除 後)	△ 245	31
継 続 事 業 からの 四 半 期 純 利 益	1,636	6,196
非 継 続 事 業 からの 損 益 (法 人 税 等 控 除 後)	△ 443	△ 65
四 半 期 純 利 益	1,193	6,131

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	当第3四半期	前年同四半期	(参 考)
	連結累計期間 自平成20年 4月 1日 至平成20年12月31日	連結累計期間 自平成19年 4月 1日 至平成19年12月31日	前連結会計年度 自平成19年4月 1日 至平成20年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー：			
四半期(当期)純利益	7,669	3,902	1,555
調 整 項 目：			
減 価 償 却 費	18,112	18,015	24,486
固 定 資 産 減 損 損 失	1,401	2,499	2,714
繰 延 税 金	1,899	3,604	138
為 替 換 算 差 額	4,425	△ 552	△ 412
受取手形及び売掛金の(△増)減	△ 49,804	△ 43,242	5,809
棚卸資産の(△増)減	△ 20,103	△ 3,225	408
その他の流動資産の(△増)減	3,135	△ 1,858	811
支払手形及び買掛金の増(△減)	36,071	20,364	△ 6,260
未払法人税等の増(△減)	386	△ 2,213	△ 1,994
未払費用及びその他の流動負債の増(△減)	2,079	△ 2,838	1,373
そ の 他 — 純 額	1,042	400	1,062
営業活動による純キャッシュ増(△減)	6,312	△ 5,144	29,690
投資活動によるキャッシュ・フロー：			
固 定 資 産 の 取 得	△ 11,414	△ 13,965	△ 18,632
固 定 資 産 の 売 却	1,690	972	1,650
定期預金の増	△ 931	△ 7,419	△ 9,764
有価証券及びその他の投資有価証券の取得	△ 273	△ 2,116	△ 2,137
有価証券及びその他の投資有価証券の売却	337	238	2,270
保証金及びその他の投資の(△増)減	△ 1,062	939	630
そ の 他 — 純 額	△ 786	1	△ 810
投資活動による純キャッシュ減	△ 12,439	△ 21,350	△ 26,793
財務活動によるキャッシュ・フロー：			
現 金 配 当	△ 3,663	△ 3,677	△ 3,677
短期借入金の増(△減)	10,247	4,789	△ 7,633
長期債務の借入	22	31,426	31,426
長期債務の返済	△ 17,507	△ 9,411	△ 12,630
そ の 他 — 純 額	△ 25	△ 33	△ 35
財務活動による純キャッシュ増(△減)	△ 10,926	23,094	7,451
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 534	△ 120	△ 581
純キャッシュ増(△減)	△ 17,587	△ 3,520	9,767
期首現金及び現金同等物残高	44,249	34,482	34,482
四半期(当期)末現金及び現金同等物残高	26,662	30,962	44,249
補足情報：			
四半期(当期)キャッシュ支払額			
支 払 利 息	2,055	2,066	2,705
法 人 税 等	672	6,888	6,904
キャピタルリース債務発生額	2,559	856	2,034

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

オペレーティング・セグメント情報

連結会社のオペレーティング・セグメントは、以下の3つの事業グループから構成されています。

加工事業本部：主にハム・ソーセージ、加工食品の製造・販売

食肉事業本部：主に食肉の生産・販売

関連企業本部：主に水産物・乳製品の製造・販売

当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

（単位：百万円）

科 目	加工事業 本 部	食肉事業 本 部	関連企業 本 部	計	消 去 調整他	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	246,641	480,119	101,236	827,996	(9,556)	818,440
(2) セグメント間の内部売上高	10,742	63,505	2,620	76,867	(76,867)	-
計	257,383	543,624	103,856	904,863	(86,423)	818,440
営 業 費 用	250,158	523,730	103,042	876,930	(86,835)	790,095
営 業 利 益	7,225	19,894	814	27,933	412	28,345

前年同四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年12月31日）

（単位：百万円）

科 目	加工事業 本 部	食肉事業 本 部	関連企業 本 部	計	消 去 調整他	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	238,535	467,219	100,916	806,670	(10,840)	795,830
(2) セグメント間の内部売上高	10,177	64,941	2,576	77,694	(77,694)	-
計	248,712	532,160	103,492	884,364	(88,534)	795,830
営 業 費 用	243,710	518,726	103,508	865,944	(88,778)	777,166
営 業 利 益 (△ 損 失)	5,002	13,434	△ 16	18,420	244	18,664

- (注) 1. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去などが含まれています。
2. 全社費用及び特定の子会社の損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告オペレーティング・セグメントに配賦しています。これらの子会社は、各報告オペレーティング・セグメントに含まれる連結会社のために間接的なサービス及び業務支援を行っています。
3. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。
4. 平成20年4月1日付で、一部の子会社の管轄事業本部を変更したため、関連する各報告オペレーティング・セグメントの前年同四半期連結累計期間について組替再表示を行っています。
5. 非継続事業からの損益への組み替えは、「消去調整他」に含まれています。

当第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日～平成20年12月31日）

（単位：百万円）

科 目	加工事業 本 部	食肉事業 本 部	関連企業 本 部	計	消 去 調整他	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	94,491	153,733	37,576	285,800	(3,065)	282,735
(2) セグメント間の内部売上高	3,686	21,812	813	26,311	(26,311)	-
計	98,177	175,545	38,389	312,111	(29,376)	282,735
営 業 費 用	92,676	173,551	37,880	304,107	(29,464)	274,643
営 業 利 益	5,501	1,994	509	8,004	88	8,092

前年同四半期連結会計期間（平成19年10月1日～平成19年12月31日）

（単位：百万円）

科 目	加工事業 本 部	食肉事業 本 部	関連企業 本 部	計	消 去 調整他	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	89,138	168,058	37,286	294,482	(3,819)	290,663
(2) セグメント間の内部売上高	3,664	22,354	893	26,911	(26,911)	-
計	92,802	190,412	38,179	321,393	(30,730)	290,663
営 業 費 用	88,042	183,594	37,505	309,141	(30,870)	278,271
営 業 利 益	4,760	6,818	674	12,252	140	12,392

- (注) 1. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去などが含まれています。
2. 全社費用及び特定の子会社の損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告オペレーティング・セグメントに配賦しています。これらの子会社は、各報告オペレーティング・セグメントに含まれる連結会社のために間接的なサービス及び業務支援を行っています。
3. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。
4. 平成20年4月1日付で、一部の子会社の管轄事業本部を変更したため、関連する各報告オペレーティング・セグメントの前年同四半期連結会計期間について組替再表示を行っています。
5. 非継続事業からの損益への組み替えは、「消去調整他」に含まれています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成21年3月期第3四半期累計期間

補 足 資 料

日 本 ハ ム 株 式 会 社

平成21年2月

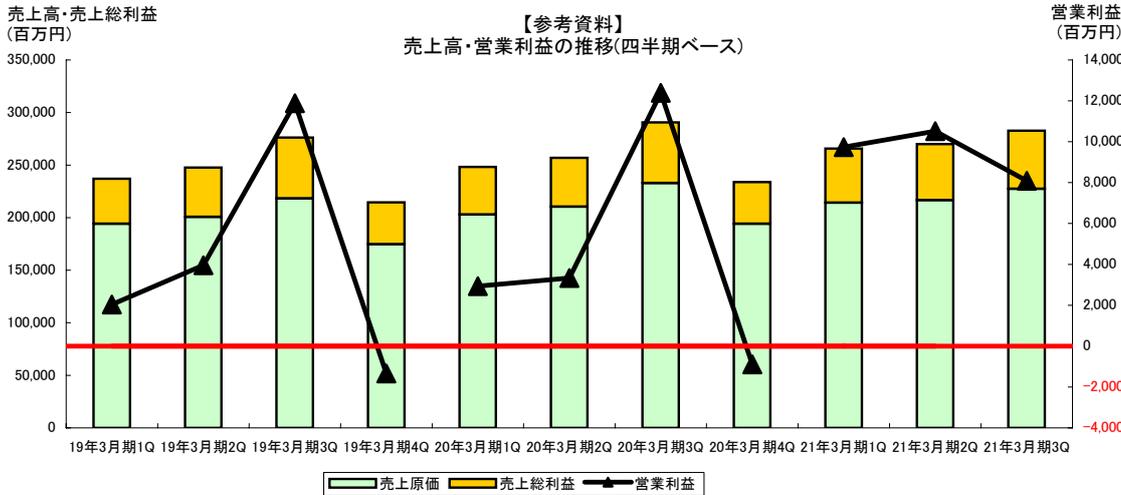
注) 本補足資料におきましては、米国財務会計基準審議会基準書第144号「長期性資産の減損又は処分に関する会計処理」に基づき、平成21年3月期第3四半期に非継続となった事業に関して、当期および平成20年3月期以前の数値を一部組み替えて表示しております。

I ハイライト情報

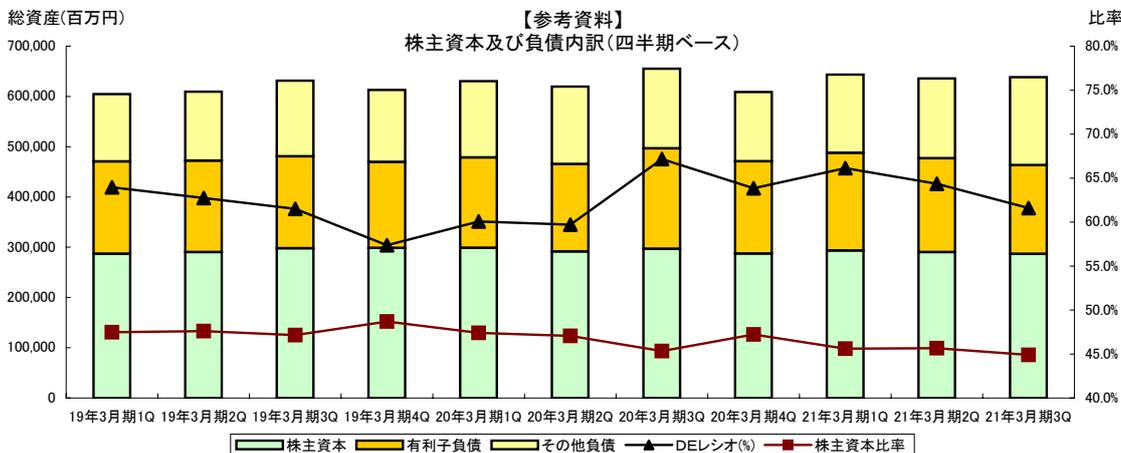
《連結決算》

(単位：百万円、%)

	19年3月期 第3四半期 (実績)	20年3月期 第3四半期 (実績)	21年3月期 第3四半期 (実績)	対前年同期 増減率	20年3月期 (実績)	21年3月期 (計画)
売上高	760,907	795,830	818,440	2.8%	1,029,694	1,050,000
売上総利益	147,633	149,510	160,073	7.1%	189,182	
営業利益	17,899	18,664	28,345	51.9%	17,769	22,000
継続事業税引前利益	15,811	12,645	14,230	12.5%	7,769	7,000
当期純利益	8,721	3,902	7,669	96.5%	1,555	4,500
売上高営業利益率	2.4%	2.3%	3.5%		1.7%	2.1%
総資産継続事業税引前利益率(ROA)	2.6%	2.0%	2.3%		1.3%	



	19年3月期 第3四半期 (実績)	20年3月期 第3四半期 (実績)	21年3月期 第3四半期 (実績)	20年3月期 (実績)	21年3月期 (計画)
総資産	631,544	655,370	638,509	608,809	
株主資本	297,761	297,093	286,695	287,457	
有利子負債	183,140	199,571	176,600	183,539	
設備投資額	14,179	14,550	15,838	18,627	21,000
減価償却費	17,061	17,676	17,631	23,939	24,000

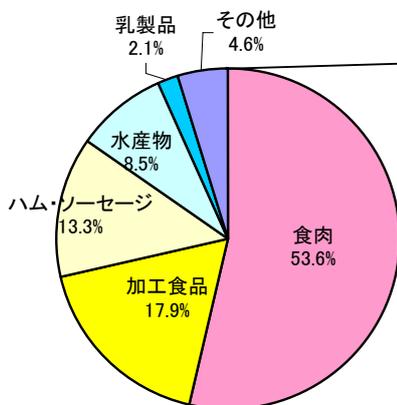


II 連結売上内訳

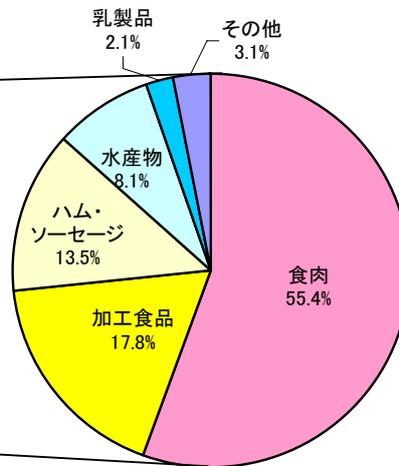
(単位：百万円、%)

	20年3月期 第3四半期 (実績)		21年3月期 第3四半期 (実績)		対前年同期 増減率	20年3月期 (実績)		21年3月期 (計画)	
		構成比		構成比			構成比		構成比
ハム・ソーセージ	105,755	13.3%	110,705	13.5%	4.7%	132,820	12.9%	137,500	13.1%
加工食品	142,284	17.9%	145,607	17.8%	2.3%	185,734	18.0%	189,500	18.0%
食肉	426,813	53.6%	453,628	55.4%	6.3%	555,372	53.9%	581,500	55.4%
水産物	67,750	8.5%	66,406	8.1%	△ 2.0%	86,226	8.4%	84,000	8.0%
乳製品	16,544	2.1%	16,824	2.1%	1.7%	22,124	2.2%	22,500	2.2%
その他	36,684	4.6%	25,270	3.1%	△ 31.1%	47,418	4.6%	35,000	3.3%
合計	795,830	100.0%	818,440	100.0%	2.8%	1,029,694	100.0%	1,050,000	100.0%

20年3月期3Q連結累計売上構成比



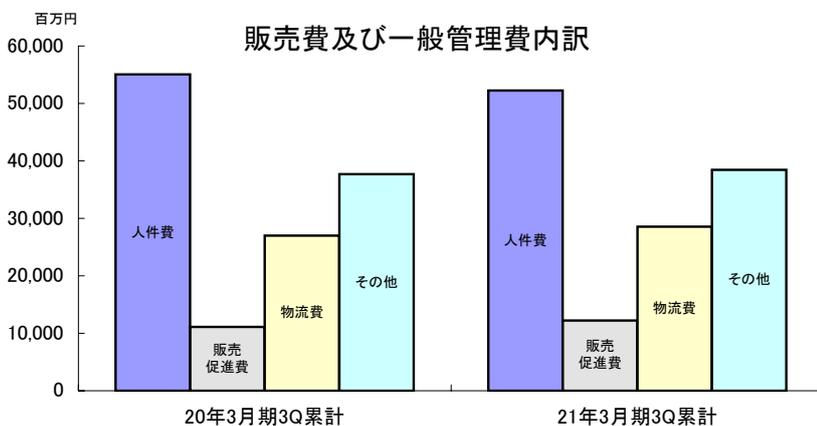
21年3月期3Q連結累計売上構成比



III 連結販売費及び一般管理費内訳

(単位：百万円、%)

	20年3月期 第3四半期 (実績)	21年3月期 第3四半期 (実績)	対前年同期 増減率	20年3月期 (実績)
人件費	55,057	52,263	△ 5.1%	72,720
販売促進費	11,114	12,219	9.9%	14,360
物流費	26,991	28,564	5.8%	35,185
その他	37,684	38,682	2.6%	49,148
合計	130,846	131,728	0.7%	171,413



IV 連結その他収益及びその他費用内訳

1. その他収益 (単位：百万円、%)

	20年3月期 第3四半期 (実績)	21年3月期 第3四半期 (実績)	対前年同期 増減率	20年3月期 (実績)
受取利息・配当金	731	866	18.5%	963
その他	154	268	74.0%	45
合計	885	1,134	28.1%	1,008

2. その他費用 (単位：百万円、%)

	20年3月期 第3四半期 (実績)	21年3月期 第3四半期 (実績)	対前年同期 増減率	20年3月期 (実績)
有価証券評価損・売却損	217	458	111.1%	930
固定資産減損	43	1,401	-	258
特別退職金	3,294	1,721	△ 47.8%	3,472
為替差損	-	9,500	-	2,289
支社移転費用	850	-	-	851
その他	434	198	△ 54.4%	437
合計	4,838	13,278	174.5%	8,237

V 地域別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間 (平成20年4月1日～平成20年12月31日) (単位：百万円)

科 目	日 本	その他の 地 域	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高					
(1)外部顧客に対する売上高	754,241	64,199	818,440	-	818,440
(2)セグメント間の内部売上高	670	69,611	70,281	(70,281)	-
計	754,911	133,810	888,721	(70,281)	818,440
営 業 費 用	725,579	134,540	860,119	(70,024)	790,095
営業利益(△損失)	29,332	△ 730	28,602	(257)	28,345

(注) 1. 外部顧客に対する売上高は、連結会社の所在地別に分類しています。
2. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

前年同四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～平成19年12月31日) (単位：百万円)

科 目	日 本	その他の 地 域	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高					
(1)外部顧客に対する売上高	720,829	75,001	795,830	-	795,830
(2)セグメント間の内部売上高	644	70,378	71,022	(71,022)	-
計	721,473	145,379	866,852	(71,022)	795,830
営 業 費 用	699,912	148,476	848,388	(71,222)	777,166
営業利益(△損失)	21,561	△ 3,097	18,464	200	18,664

(注) 1. 外部顧客に対する売上高は、連結会社の所在地別に分類しています。
2. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

当第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日～平成20年12月31日）

（単位：百万円）

科 目	日 本	その他の 地 域	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高					
(1)外部顧客に対する売上高	266,143	16,592	282,735	-	282,735
(2)セグメント間の内部売上高	173	22,547	22,720	(22,720)	-
計	266,316	39,139	305,455	(22,720)	282,735
営 業 費 用	256,714	40,420	297,134	(22,491)	274,643
営業利益（△損失）	9,602	△ 1,281	8,321	(229)	8,092

- (注) 1. 外部顧客に対する売上高は、連結会社の所在地別に分類しています。
2. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

前年同四半期連結会計期間（平成19年10月1日～平成19年12月31日）

（単位：百万円）

科 目	日 本	その他の 地 域	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高					
(1)外部顧客に対する売上高	265,478	25,185	290,663	-	290,663
(2)セグメント間の内部売上高	254	23,610	23,864	(23,864)	-
計	265,732	48,795	314,527	(23,864)	290,663
営 業 費 用	252,318	49,761	302,079	(23,808)	278,271
営業利益（△損失）	13,414	△ 966	12,448	(56)	12,392

- (注) 1. 外部顧客に対する売上高は、連結会社の所在地別に分類しています。
2. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。